

『(財) 中島記念国際交流財団助成』(独) 日本学生支援機構実施事業

# 第三の故郷を見つける農家民泊 2018 実施報告書



かたくり館にて (仙北市西木町)

平成30年11月

秋田地域留学生等交流推進会議

# 目 次

はじめに .....	1
I. 参加者名簿 .....	2
II. 実施要項 .....	4
III. 実施スケジュール .....	6
IV. 活動報告	
1 班 .....	8
2 班 .....	9
3 班 .....	10
4 班 .....	11
5 班 .....	12
6 班 .....	13
7 班 .....	14
8 班 .....	15
V. アンケート結果	
農業体験ツアー 留学生・日本人学生アンケート .....	16
農業体験ツアー 受け入れ農家アンケート .....	18
収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート .....	21
収穫感謝祭ツアー 受け入れ農家アンケート .....	23
おわりに .....	25



# 10月13日 (土)・14日 (日) 農業体験ツアー



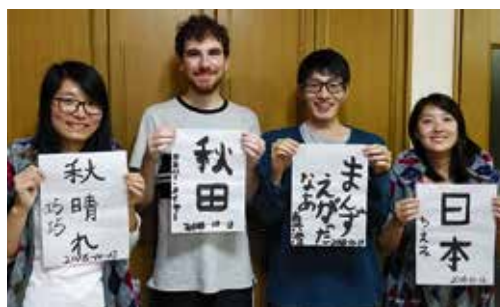














かたくり館で  
昼食





# 11月10日 (土) 収穫感謝祭ツアー

もちつき









# 笹の葉もち作り







アルバムをプレゼント







10周年を記念して、みんなで記念撮影





本事業「第三の故郷をみつける農家民泊」は今年で10周年を迎えることができた。これまで、大きな問題もなく、質の高いプログラムを継続できたことを誇りに思う。今まで様々な農家の方にお世話になった。一つとして同じところはなく、皆、あたたかく迎え入れてくれた。

私の専門としている日本語教育学の分野では、日本語を第二言語として学ぶ学習者に注目した研究が多くなされている。その中には、母語話者（または非母語話者）がどのようなストラテジーを使用すれば、円滑なコミュニケーションが実現できるかという視点でなされたものが多い。そこには、母語話者、非母語話者という明確なカテゴリーが設定されている。今でも覚えているのは、立ち話の中である農家の方が、「そんなの関係ない」と断言されたことだ。そして、さらりと「人間はみんな一緒だ」ともおっしゃった。留学生は日本語の言語経験が少ない。しかし、決して何も考えていないわけではない。一人一人の語りにじっくりと耳を傾けると、それぞれ個性を持った個人であることが分かる。受入れ農家の多くの方達は、そのことをよく理解してくだっているように思う。

今回、私がお世話になった里の灯では、野菜の収穫やきりたんぼ作り、トラクターの試運転、民芸品づくりなどを体験した。また、作業の合間に、佐藤さんご夫妻の農業人生を聞くことができた。留学生達に後に聞くと、「全てが理解できたわけではないけど、そのことはそんなに気にならない。農家の暮らしが理解できてとても楽しかった」と感想を述べた。そして、何より佐藤さんご夫妻が楽しみながら自分達を受け入れてくれていることがよく分かったと語ってくれた。また、佐藤さんも多様な背景を持つ留学生の経験や話しを聞くのを楽しみにしてくれているようだった。「第三の故郷をみつける農家民泊」の活動の肝は、このように農作業を通して、お互いを理解しあうことにある。

近年、グローバル人材の育成が叫ばれて久しいが、西木町には既にグローバルな人材が豊富に存在することを忘れてはならない。私は年に一度、大上段に構えずとも、ある意味、当たり前のようにグローバルな西木町の方達に留学生と共にお世話になることをとても楽しみにしている。



第三の故郷を見つめる農家民泊2018 参加者名簿/Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki 2018 Participants List

班 Group	リーダー Leader	名前 Name	読み仮名/英語表記 Katakana/English	所属 Institution	出身地 Country	性別 Sex
1.門脇 節子さん Kadowaki Syoko (豊雪館) Seisetsukan	★	Terri Lee Nagahashi	テリー リー ナガハシ	秋田県立大学 Akita Prefectural University	アメリカ USA	女 F
	◎	宮下 加奈子	ミヤシタ カナコ/Miyashita Kanako	国際教養大学 Akita International University	日本 Japan	女 F
		Erkki Hirvonen	エリック ヒリヴォネン	秋田大学 Akita University	フィンランド Finland	男 M
		屈 国偉	クワン コクイ/Kitsu Kokui	秋田大学 Akita University	中国 China	男 M
2.藤井 けい子さん Fuji Keiko (泰山堂) Taizando		屈 昭恩	クワン ショウオン/Shin Soeun	ノースアジア大学 North Asia University	韓国 Korea	女 F
		長 敬怡	チョウ ケンイ/Zhao Xinyi	秋田県国際交流協会 Akita International Association	中国 China	女 F
	★	佐藤 恒之	サトウ ツネユキ/Sato Tsuneyuki	秋田工業高等専門学校 National Institute of Technology,Akita College	日本 Japan	男 M
	★	増田 周平	マズダ シュウヘイ/Masuda Shuhei	秋田工業高等専門学校 National Institute of Technology,Akita College	日本 Japan	男 M
3.高橋 由希子さん Takahashi Yukiko (のどか) Nodoka	◎	鈴木 陽奈	スズキ ハルナ/Suzuki Haruna	国際教養大学 Akita International University	日本 Japan	女 F
		Liu Xuan	リュウ セン	秋田大学 Akita University	中国 China	女 F
		Viad Andreea Ioana	ヴィアド アンドレア イオナ	秋田大学 Akita University	ルーマニア Rumania	女 F
	◎	Hilromi Camille Kawaai China	ヒロミ カミール カワイ チナ	秋田県国際交流協会 Akita International Association	ブラジル Brazil	女 F
4.佐藤 由井さん Sato Yui (里の灯) Satoroakari	◎	石川 瑛咲	イシカワ サエミ/Ishikawa Saemi	国際教養大学 Akita International University	日本 Japan	女 F
		武 岳	フ ガク/Wu Yue	秋田大学 Akita University	中国 China	男 M
		Wang Sung Jung	ワン ソン ロン	国際教養大学 Akita International University	台湾 Taiwan	女 F
		Mohammad Alif Afic Bin Mohamed Razak	ムハマド アリフ アフィッピン ムハマムド ラザク (アリフ)	秋田工業高等専門学校 National Institute of Technology,Akita College	マレーシア Malaysia	男 M
5.門脇 砂絵美さん Kadowaki Saemi	★	Manuera Takako Rebecchi Oshida	マヌエラ タカコ レベッチ オシダ	秋田県国際交流協会 Akita International Association	アルゼンチン Argentina	女 F
	◎	市嶋 典子	イチシマ ノリコ/Ichishima Noriko	秋田大学 Akita University	日本 Japan	女 F
		王 朝麟	オウ ホウホウ/Wang Pengpeng	秋田県立大学 Akita Prefectural University	中国 China	男 M
		Caroline Ressayt	キャロリン レソ	国際教養大学 Akita International University	フランス France	女 F
6.佐藤 節子さん Sato Ikuko (一の重) Ichinoe		Yimavong Noudsaka	ニムアヴォン ヌツサカ (ティッキー)	秋田工業高等専門学校 National Institute of Technology,Akita College	ラオス Laos	男 M
		Benyapa Benjakul	ベンヤパー ベンジャクン	国際教養大学 Akita International University	タイ Thailand	女 F
	◎	成田 恭歌	ナリタ キョウカ/Narita Kyoka	秋田大学 Akita University	日本 Japan	女 F
		Nik Anis Nabila Binti Nik Zuhari	ニク アニス ナビラ ビンティ ニク ズハリ (アニス)	秋田工業高等専門学校 National Institute of Technology,Akita College	マレーシア Malaysia	女 F
7.沢山 節子さん Sawayama Setsuko (一助) Ichisuke	★	李 徳欣	リ トクキン/Li Dexin	秋田大学 Akita University	中国 China	女 F
	◎	佐藤 茜	サトウ アカネ/Sato Akane	秋田大学 Akita University	日本 Japan	女 F
		今野 咲彩	コノノ サアヤ/Konno Saaya	秋田大学 Akita University	日本 Japan	女 F
		千葉 美采	チバ ミコト/Chiba Mikoto	秋田大学 Akita University	日本 Japan	女 F
8.川井 喜幸さん Kawai Kikou (ふる里) Furusato		Jared Goodstadt	ジャレット グッドスタット	国際教養大学 Akita International University	アメリカ USA	男 M
		薛 晓娟	セツ ショウウェン/Xue Xiaolian	秋田県立大学 Akita Prefectural University	中国 China	女 F
		潘 建誠	ハン チェンチェン/Pan Chien Chen	秋田大学 Akita University	台湾 Taiwan	男 M
	◎	伊藤 聡子	イトウ サトコ/Ito Satoko	秋田大学 Akita University	日本 Japan	女 F
9.引塚 教職員 Faculty or a staff		李 睿利	イ イェリ/Lee Yeri	ノースアジア大学 North Asia University	韓国 Korea	女 F
		Maxim Rayz	マクシム ライス	国際教養大学 Akita International University	ロシア Russia	男 M
		趙 東東	チョウ ドンドン/Zhao Dongdong	秋田県立大学 Akita Prefectural University	中国 China	男 M
	◎	橋本 貫造	ハシモト マスミ/Hashimoto Masumi	秋田県立大学 Akita Prefectural University	日本 Japan	男 M
10.川井 喜幸さん Kawai Kikou (ふる里) Furusato		Casper Meijer	カスパー メイヤー	国際教養大学 Akita International University	オランダ Netherlands	男 M
		李 巧巧	リ チョチョ/Li Qiaobao	秋田県立大学 Akita Prefectural University	中国 China	女 F
		Amanda Saito Thieni	アマンダ サイトウ チエミ	秋田県国際交流協会 Akita International Association	ブラジル Brazil	女 F

★=引塚教職員 Faculty or a staff

◎=グループリーダー Leader of the group



### 協力農家等

名前 Name	ヨミガナ／英語表記 English	宿泊受け入れ Group
1 門脇 昭子	カドワキ ショウコ／KADOWAKI Shoko	1班
2 藤井 けい子	フジイ ケイコ／FUJII Keiko	2班
3 高橋 由希子	タカハシ ユキコ／TAKAHASHI Yukiko	3班
4 佐藤 由井	サトウ ユイ／SATO Yui	4班
5 門脇 砂絵美	カドワキ サエミ／KADOWAKI Saemi	5班
6 佐藤 郁子	ノミ タダタカ／TADATAKA Nomi	6班
7 沢山 節子	サワヤマ セツコ／SAWAYAMA Setsuko	7班
8 川井 喜幸	カワイ キコウ／KAWAI Kikou	8班

### 農業体験ツアー一参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	ノースアジア大学	秋田大学	秋田県国際交流協会	男	女	計
留学生	4	3	6	2	7	-	11	11	22
日本人学生	1	-	3	-	3	-	1	6	7
研修員	-	-	-	-	-	4	-	4	4
教員	1	1	-	-	1	-	1	2	3
職員	-	-	-	-	1	-	-	1	1
計	6	4	9	2	12	4	13	24	37

### 収穫感謝祭ツアー一参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	ノースアジア大学	秋田大学	秋田県国際交流協会	男	女	計
留学生	3	2	5	2	7	-	11	9	20
日本人学生	1	-	3	-	3	-	1	6	7
研修員	-	-	-	-	-	4	-	4	4
教員	1	1	-	-	1	-	1	2	3
職員	-	-	-	-	1	-	-	1	1
計	5	3	8	2	12	4	13	22	35

## 第三の故郷を見つける農家民泊 2018 実施要項

### 1. 目的

本事業は、秋田県内で学ぶ留学生が農業体験を通じ、1) 随一の地場産業である農業と農家の暮らしを体験的に理解するとともに、2) 農家の方のお話から、仙北市西木町の魅力を認識し、本事業後も再び同地を訪れるような継続的な関係づくりを目指す。

留学生の出身地、秋田県内での勉学・生活の地に加え、仙北市西木町を第三の故郷として見つけ出してもらうことを最終目標とする。

### 2. 実施内容

二回の農業体験プログラムを通じ、仙北市西木町の生活を理解し交流を深める。

第一回目の「農業体験ツアー」では、農作業・農家民泊を体験したのち、各農家が協働で作った料理を持ち寄るとともに、ツアーの内容を振り返り全員で共有する。

第二回目の「収穫感謝祭ツアー」では、再度同じ顔ぶれで集まり、餅つき大会を開催するとともに、「農業体験ツアー」での思い出をアルバムにまとめ農家の方に贈呈する。また、農家の方と西木町での生活の魅力を語り合う時間を設け、留学生の再訪へとつなげる。

#### (1) 第一回目 「農業体験ツアー」

- 1 グループごとに各農家に分かれ農作業を体験
- 2 農家に宿泊し、グループメンバー同士や農家の方々とさらなる交流
- 3 参加者全員で、各農家で留学生と協働で作った料理を持ち寄り、かたくり館にて昼食会と農作業体験の振り返りを行う

#### (2) 第二回目 「収穫感謝祭ツアー」

- 1 第一回目と同じ顔ぶれで集まり、餅つき大会を開催  
その後、地元農作物やお餅を用いて調理
- 2 各グループで農業体験ツアーを振り返ってのアルバム作成
- 3 料理を食べながら、交流会とアルバム贈呈を実施

#### (3) 最終成果を留学生交流推進協議会のウェブサイト上に報告書として公開



3. 参加予定 県内在住の外国人留学生人24人, 日本人学生7人,  
協力教員・引率4人, 西木町の地域住民7人 計42人
4. 実施期日 「農業体験ツアー」 平成30年10月13日(土)~14日(日)  
「収穫感謝祭ツアー」 平成30年11月10日(土)
5. 実施日程 別紙のとおり
6. 募集期間 平成30年6月~9月予定
7. 主 催 秋田地域留学生等交流推進会議
8. 協賛・協力 グリーン・ツーリズム西木研究会, NPO 法人秋田花まるっグリーン・  
ツーリズム推進協議会, 公益財団法人秋田県国際交流協会, 秋田モン  
ゴル友好協会, 秋田地区日本中国友好協会, 仙北市
9. 参加料 無料
10. 問合せ先 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
秋田地域留学生等交流推進会議事務局  
秋田大学国際課内 佐藤  
TEL 018-889-2856 FAX 018-889-3012  
E-mail kokusai@jimu.akita-u.ac.jp





## Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki 2018 Schedule

<b>FarmStay Tour Day1</b>	<b>October 13th(Sat.)</b>
---------------------------	---------------------------

- 8:50 Meet in front of the AIU bus stop (AIU participants)
- 9:00 Leave AIU (by chartered bus)
- 9:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 9:30 Leave Akita University brief stop at "Andou Miso and soy sauce brewer"
- 11:00 Arrive in Nishiki-machi, meet your hosts and have lunch, participate in farming activities.
- 17:00 Have dinner and stay at farmer's house.

<b>FarmStay Tour Day2</b>	<b>October 14th(Sun.)</b>
---------------------------	---------------------------

- 6:30 Wake up
- 7:00 Breakfast
- 8:30 Farming activities
- 12:00 Arrive at Nishiki Katakuri Public Hall, have lunch with host farmers.
- 13:00 Take a group photo
- 14:00 Free time
- 15:00 Leave Nishiki Katakuri Public Hall (Please fill out a Questionnaire in the bus)  
Brief stop at "Andou Miso and soy sauce brewer"
- 16:30 Arrive at Akita University
- 17:00 Arrive at AIU

<b>Harvest Festival Tour</b>	<b>November 10th(Sat.)</b>
------------------------------	----------------------------

- 7:50 Meet in front of the AIU bus stop (AIU participants)
- 8:00 Leave AIU (by chartered bus)
- 8:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 8:30 Leave Akita University
- 10:00 Arrive at Nishiki Katakuri Public Hall, enjoy Harvest Festival-Cooking, eating, and making photo albums
- 14:20 Take a group photo, free time
- 15:00 Leave Nishiki Katakuri Public Hall (Please fill out a questionnaire in the bus)
- 16:30 Arrive at Akita University
- 17:00 Arrive at AIU

**\*All participants are required to participate in both Farm Stay Tour and Harvest Festival Tour.**

## 1 班活動報告（門脇昭子さん宅：星雪館）

国際教養大学 宮下 加奈子

今回の交流事業では、星雪館の皆さまにお世話になった。1班には中国、フィンランド、韓国など様々な国から訪れた参加者が集い、英語なら話せる人もいれば、日本語しか通じない人もいてシンプルな会話にも一苦労だった。それでも門脇さん一家はいつも笑顔で一生懸命に農作物の話をしてくれたり、参加者の故郷について尋ねたりして、場を和やかにしてくれた。

主な作業は薪を積むことだった。細長く切られた薪をパズルのようにお互いの隙間を埋めるようにして積み重ねていくのだが、特に明確な指示も無いままに手探りで協力し合って進めた。小さな小屋が薪でびっしり埋め尽くされたのを見た時は、全員が大きな達成感を味わった。想像以上に体力を使ったため、「ばば」や「お富士さん」が親切に用意してくれたおやつは格別だった。夕方には疲れを癒すために温泉へ向かった。その途中、田沢湖で見た美しい夕焼けは忘れられない。寒い中、お富士さんの話してくれる田沢湖にまつわる伝説に耳を傾け、留学生もより秋田に興味を持った様子だった。そして、温泉では冷えた身体も心も温まる体験をした。中国からの留学生にとっては初めての温泉で、緊張しながらも心ゆくまで楽しんだ様子だった。当初の予定より30分ほど長く入浴してしまうほどだった。

帰宅後は「ばば」が豪華な晩御飯を用意して待っていた。「ばば」は本当に料理が上手く、毎食の品数や味は圧倒的で、五感で楽しめる内容だった。多くの品に「じじ」が獲って来たきのこが使われていたり、畑からの非常に新鮮な野菜が使われていたりして、大切に味わうことができた。

早朝には霧の中散歩をして、新鮮な空気を補充した。周りの多くの農家さんたちは既に起きている様子で、この地域の朝の早さに驚いた。家に戻ると「じじ」が薪でストーブに火を付けてくれた。彼の素敵な笑顔とストーブの火は、普段感じられない、深い暖かさだった。

翌月に再会した時には、一ヶ月の空白を感じさせない程に皆が自然と集まって、会話が弾んだ。星雪館での濃い経験が皆を繋いでくれたような感じがした。門脇さん一家はこれ以上ない程に親切に接してくださり、この交流事業での経験は、数ある秋田での経験の中でも輝いている。他国の文化を知るのも大切だけど、目の前にある文化も学んでいこうと感じた。



## 2 班活動報告（藤井けい子さん宅：泰山堂）

国際教養大学 鈴木 陽奈

記念すべき10年目を迎えた、第三の故郷を見つける農家民泊～find your third hometown in Nishiki～に参加し貴重な経験ができたことは、班員全員にとってとても良い思い出になりました。2班は、ブラジル人のひろみちゃん、中国人のリユウちゃん、ルーマニア人のアンドレア、引率教員の佐藤先生、そして私の国際色豊かな5人でした。私は国際教養大学のRCOS（研究・地域連携支援チーム）からのメールでこのイベントを知り、申し込みました。通訳の心づもりで参加したのですが、リユウちゃんとアンドレアは日本語を専攻しており、とても日本語が上手で、農家の方とも日本語で意思疎通をしていました。ひろみちゃんはブラジル出身ですが、祖父母が秋田出身の日本人で、ブラジルの秋田県人会を通じて一か月前に日本に来たばかりでした。そのため日本語は話せなかったのですが、けい子さんの息子さんが英語で会話してくれ、意思疎通に問題はありませんでした。しかし時折日本語で会話が進んでしまうと話に入れないこともあり、私としてはもう少し良い通訳ができたかと悔やまれます。やはり通訳は必要であると実感しました。しかし、言語の壁があっても貴重な体験ができたことに変わりなかったように見えました。

このイベントは二回に渡って行われ、一回目は10月13日～14日に農家民泊をさせてもらい、二回目は11月10日収穫感謝祭ツアーに参加しました。一回目、私たちは泰山堂にお邪魔しました。泰山堂に着いてから、けい子さんの作ってくださった昼食を食べ、私たちが泊まる泰山堂を見て回りました。囲炉裏や畳、木製の風呂場など、伝統的な日本の家がよく再現されており、見入ってしまいました。そして精米する過程を見せてもらい、そのお米を直売所へ届けに行きました。また囲炉裏に使う炭を買いに角館へ出向き、その際息子さんが武家屋敷の通りを見せてくださいました。帰ってきてから畑の大豆を集め、またトラクターを触らせていただきました。その後、けい子さんと一緒にお米からきりたんぼを作り、そのほかにも白玉団子、てんぷら、チーズタッカルビなど豪華な夕飯をいただきました。次の日は、午前中に泰山堂の周りを散策し、豊かな自然の中や、神社で写真を撮りました。そして持ち寄りのお弁当を作り、かたくり館で他のグループと合流して一緒に昼食を食べました。他のグループの活動報告では、それぞれ違った農家の方にお世話になり、経験や思い出も様々だったことを聞きました。どのグループも農家の方のおもてなしのおかげで、とても充実していました。

二回目は、かたくり館にて収穫感謝祭を行いました。餅つきを体験し、けいらん餅というカラフルな餅も作りました。餅つきは留学生達が喜んで参加し、見ているこちらも楽しかったです。そしてその餅と一緒に農家の方が作ってくれたお弁当をいただきました。つくたての餅も農家の方のお弁当も本当に美味しかったです。そして前回撮った写真でアルバムを作り、農家の方へプレゼントしました。三日間の感謝を伝えられたと思います。このイベントは、留学生へ日本の良さを伝えるだけでなく、通訳として参加した私も、秋田の良さを再確認することができる、とても充実したものでありました。

### 3 班活動報告（高橋由希子さん宅：のどか）

国際教養大学 石川 嗟咲

私たち3班（台湾から国際教養大学への留学生 ワン ソン ロン，マレーシアから秋田専修大学への留学生 アリフ，中国からの秋田大学への留学生 ガク，アルゼンチンから秋田大学への留学生 タカコ）は，由希子さんと由希子さんのお母様のお家，のどかにお世話になりました。留学生は皆流暢な日本語を話し，理解も苦勞せずにできていました。しかし，アルゼンチンからの留学生たかこは，日本語が苦手なため，私が通訳しました。通訳することにより，コミュニケーションの橋渡し役になれたことが嬉しかったです。到着してからは，昼食として野菜たっぷりのカレーをいただきました。カレーをいただく前に，由紀子さんのお宅の裏の山を皆で散策しました。たかこがビーガンだったため，レシピも試行錯誤して，ゆきこさんに作っていただいたご飯は本当においしく，毎回みんなでおいしいおいしいと言いながら食べ，とても幸せな気持ちになりました。その後，畑へ行き，農家作業にとりかかりました。仕事内容は，大根を植えかえる作業，里芋，ブロッコリーの収穫などでした。大根を植え替えるために，土を耕して，大根を移動させた後に，肥料をまきました。皆で協力しながら，楽しく作業していたものの，たったこれだけの作業でも，私たちは疲れてしまい，休憩をとることにしました。この作業をほとんど毎日やっているおばあちゃんは本当にすごいと思いました。休憩時には，ゆきこさんからの差し入れ，大学芋をいただきました。飼い犬のハチも一緒に休憩しました。家に帰ってからは，皆でみそたんぽを作りました。みそたんぽを焼いている間に，温泉へ行きました。留学生にとっては初めての温泉。最初はためらっていたものの，なれてからは温泉が大好きになり，ほかの温泉も行きたいと言っていました。帰宅後は，夜ご飯をごちそうになり，自分たちで作ったきりたんぽはおいしくて，何本も食べました。それから，皆で星をみました。とてもきれいで，皆で感動しました。お茶を飲みながらおばあちゃんと夜遅くまで，お話し，文化の違いや，おばあちゃんの私たちの歳くらいの頃の話の話を聞きました。それから，おやすみをいい，就寝しました。

二日目の朝には，昼食のためのおにぎりを自分たちで作りました。また，朝食のお弁当には，自分たちで前日に収穫した野菜が使われていて，私たちは収穫しただけだけど，おばあちゃんの農作業をしている様子や，これを今晚のおかずにしようと言っていたことを思い出すと，自分で育てたものを食べることは，本当に素敵なことだと思いました。自分が生きていくためだけの能力も技術もありません。こうやって当たり前で食料がある生活に，感謝して生きていくべきだと思いました。

また，ガクは英語が話せない，たかこは日本語が話せないという状況でしたが，最後のお別れの際には，皆と中を深められたことを実感し，寂しい気持ちになりました。言葉の壁は大きいけれど，有意義な時間を共有することで，仲を深められたと思います。

収穫祭では，仲間たち，由希子さん，おばあちゃんとの再会に胸があつくなりました。アルバム作成時に，写真で私たちの思い出を振り返り，このプログラムに参加して本当に良かったと思いました。皆でまた同じように楽しい時間を共有でき，幸せでした。このプログラムのタイトル通り，本当に第三の故郷が見つかったように思えて，また由希子さんとおばあちゃんに会いに行きたいと思います。



#### 4 班活動報告（佐藤由井さん宅：里の灯）

秋田県立大学 王 鵬鵬

最初にこの農家民宿の活動をするのは、今年6月のことでした。「世界各地からの留学生たちと交流することができ、非常に貴重な経験だよ」と先輩に誘われて、活動開催のメールが来たとたん、申し込みました。当日に、一体どういう人と出会えるかなという不安な気持ちがありながら、バスを乗って、出発しました。

その後、西木村、佐藤さんのお宅「里の灯」に到着して、他の留学生たちと一緒に簡単な自己紹介をしました。今回4班は中国人の私を含め4人の留学生がいました。二人は国際教養大学のタイ人やフランス人留学生である、もう一人は秋田工業専門学校のラオス人留学生である。みな日本語はあまり上手ではないから、秋田大学の市嶋先生が通訳の役として同行していただき、本当に助かったと思います。

おばあちゃんが準備してくれた昼ご飯を食べた後、本番の農家体験ようやく始まりました。最初に体験させていただいたのはトラクターの運転でした、私はトラクターの運転は初めてですので、うまくいけるかどうか悩むところ、おじいちゃんが傍に優しく教えてくれて、楽しみに運転することができました。そのあと、里の灯に戻って、庭できりたんぼをつくりました、使ったのは秋田誇りの新米でした。きりたんぼが焼けるまでの間、おじいちゃんと昔の農家生活について話しをしながら、薪割りも体験させていただきました、薪を簡単に当てると思ったのに、想像以上難しかった。

夕方になると、晩ご飯をするため、おばあちゃんに連れられて、野菜を取って行きました、農薬が一切使用しなく健康にとっても効果があるという、一番印象に残ったのは食用菊でした、金色の夕焼けの下で黄色の食用菊に囲まれて写真も撮りました。私は普段あまり料理を作らないタイプですから、今回取った野菜で作った晩ご飯を食べて、本当に美味しかったと思います。また、おじいちゃんは食事後三味線を弾いてくれました、かっこよくて本物の日本風でした。

他にも、栗取りをしたり、民芸品を作ったり、いろんなことを体験させていただきました、2日間あっという間に過ごしました。日本の農家生活と中国あるいは他の国の農家生活との違いをすることができました。また、佐藤さんご夫婦の優しさを感じて、本当に感謝したいと思います。今回、この農家民泊活動を参加させていただき、本当にありがとうございます。

## 5 班活動報告（門脇砂絵美さん宅）

秋田大学 成田 恭歌

私は率直にこの農業・民泊体験に参加できて本当によかったなと感じています。まず、民泊体験では、留学生のみんなと大学にいただけでは体験することができない「日本の農業」に触れることができ本当にうれしかったです。留学生のみんなにとっても、日本の農業文化に触れる機会はなかなかないと思うのでとても良い経験になったのではないのでしょうか。私は、青森県出身で、しかもリンゴ農家をしている家で育ったので、留学生のみんながバッタなどの虫を怖がっていたり、仙北の綺麗な空気に気持ちを落ち着かせたり、風景に感動したりしている姿がとても新鮮でした。実際にお世話になった門脇さんのお家は、いかにも日本らしい家のつくりで、その立派さに留学生の2人だけでなくわたしも圧倒されていたし、2人も実際に日本らしいおうちに泊まることができとても幸せだったと言っていました。農業体験では、門脇さんのお家のビニールハウス内でのトマトの収穫のお手伝いをしたり、枝豆取りを手伝うことで野菜のありがたみを感じるとともに、大学生活の多忙さで忘れてしまっていた自然の豊かさも改めて感じることができました。特に、門脇さんのお家のミニトマトは甘くて本当においしかったです。スーパーの市販のミニトマトとは比べ物にならないくらいでした。実際にお家の中では、主にご飯支度を手伝わせてもらい、みそたんぽやきりたんぽ汁をごちそうさせてもらっただけでなく、門脇さんのお子さんやご両親とも交流を深められたことで家族の大切さや温かさを深く感じました。ご飯は朝から晩までおいしいごちそうをたくさん作ってくれたことに改めて感謝したいです。夜には、日本の花火をまだ見たことがないというアニスとトッキンのために大曲花火に連れていってくれて、私も大曲の花火をみたことがなかったのでとても感動しました。私にとっても留学生の2人にとっても忘れられない思い出になりました。民泊を通しては、留学生とお泊りすることで異文化というものを講義よりも直に感じることができましたし、門脇さんも私にもよりの留学生の日本語の上手さに驚きました。11月の餅つき大会では、留学生も大好きなおもちをみんなでつきました。私にとっては小学校以来の餅つきだったので体力がおいつかないとともに、おいしいお餅を食べるにはこんなにも苦労が必要なのかと、民泊同様、食べ物のありがたさを実感しました。しかし、留学生は力が要ることなど忘れて餅つきを心の底から楽しんでいるのを見て、本当に日本が好きなんだなと感じましたし、仙北のみなさんも留学生のこういう顔がみたいから毎年こういう機会を開いてくれるんだなという、仙北という町全体の温かみを実感することができたと思います。最後のお別れはすごく寂しくて、県外から来たわたしにとっては今でも秋田のお母さんだと感じていますし、何よりも留学生のみんなにとっては日本のお母さんという存在になったと思います。

最後になりますが、こういう留学生と交流できる場を開いてくれたこと、また秋田の良さを感じさせてくれたこの企画を考慮いただき、本当にありがとうございました。また絶対に会いに行きたいと思いましたし、農業の大切さ・仙北の人々の温かさを感じました。本当にありがとうございました。



私は秋田県にかほ市の出身ですが、仙北市の西木町には初めて訪れました。私たち6班が宿泊させて頂いた一の重さんに着くまでには広大な面積の田んぼを目にしました。お家に到着してから、佐藤郁子さんが案内して下さいました。昔おじいさんが趣味で集めたという骨董品が飾られており、その多さに驚きました。昼食には、郁子さんが作ってくださったカレーライス頂きました。ルーはとろとろでご飯はもちもちでとても美味しかったです。農作業体験は栗拾いをしました。穴が開いていないかを確認してから籠に入れるのですが、見つけるのがなかなか難しかったです。しかし大きい栗もきれいな栗もたくさん拾うことが出来ました。その後は枝豆の摘み取りをしました。佐藤さんのお孫さんも一緒に作業をして、自然と私たちの仲を縮めてくれました。夕飯の準備としてきりたんぽをみんなで作りました。私は作るのは初めて、棒につけるのが難しかったです。外で焼いているときに、ちょうど夕日が沈む時間で田んぼが輝いていたのがとても綺麗でした。拾った栗も一緒に焼いて食べました。お風呂は温泉に連れて行って頂きました。留学生の方々が少し抵抗を見せていたのが印象に残っています。温泉から帰るとお膳が用意されていました。お昼に摘み取った枝豆や郁子さんが作ったエビフライ、煮物、そしてみんなで作ったきりたんぽは鍋になって出てきました。枝豆は味が濃く感じました。他の料理もどれも絶品でした。重光さんがビールと日本酒を振る舞って下さいました。アメリカ出身のジャネットさんの衝撃的なお話をみんなで聞いてたくさん語ってとても楽しい夜になりました。ふかふかのお布団で睡眠をとりました。次の日は朝もお昼もたくさんご飯を食べました。おなががいっぱいのはずなのにたくさん食べることができたのは不思議ですが、ストレスフリーな環境と美味しい料理のお陰だと思っています。

二日間、ほとんどスマホやパソコン、テレビを見ずに大自然に触れて過ごしました。私は小さい頃にタイムスリップした気分になり、留学生の皆さんもとても楽しんでいて、私たちの第2の故郷になりました。農業一本でお仕事をしていたり、田んぼに囲まれた大きい家に住んでいたりとということを知れて仙北市の西木町の暮らしを体験できたことは秋田県出身者として、これから県外や海外の人と交流する時に発信できることとしてとても嬉しく、誇らしいです。今まで、東京の生徒たちが修学旅行などで秋田に来たりすることを聞いて、楽しいのかなと思っていましたが、実際に民泊させて頂き、すごく贅沢な気持ちになり、秋田に住んでいながらも減多にできない体験をし、他の友達にも勧めたくなりました。特にきりたんぽを焼くときに環状のわらにさして炭火で焼くやり方は、全く電気を使っていないですし、何よりも夕日が沈むきれいな空の下での作業となり、私の中で貴重な特別な思い出になりました。また一つ秋田の良いところを知れてもっと秋田が好きになりました。都会に疲れたらまた戻ってきたいと思っています。本当にいい経験をさせて頂きました。たくさんのおもてなしに心が温まりました。本当にありがとうございました。

## 7 班活動報告（沢山節子さん宅：一助）

秋田大学 伊藤 聡子

私たちがホームステイをした受け入れ農家さんは、一助というそば屋さんでした。初日の昼食は、農家のお父さんが作ったそばでした。とてもおいしく、これからすてきな経験ができるだろうと力が湧いてきました。

午後は、お母さんの運転で田沢湖を見物しました。展望台からの田沢湖と周りの山々がとてもきれいでした。空気も澄んでいて、静かでとても心が安らぎました。留学生たちは写真を撮ったり、お母さんと景色について日本語で話したりしました。また、田沢湖周辺にある神社も訪れました。そこでは、お参りに来ていた男性からたつこ伝説を教えてもらいました。たつこ伝説を聞いた留学生たちは興奮気味で話を聞いていました。近くでは、一つの木から7種類の植物が成長しているととても珍しい木も見ました。田沢湖を見たあとには栗のソフトクリームをみんなで食べました。みんな初めて食べる栗味のソフトクリームをおいしそうにほおぼっていました。そのあとは、温泉に連れて行ってもらいました。農家にいた小学生1年生の男の子も一緒に行き、照れながらも仲良く交流できました。お風呂の後は、晩御飯です。お母さんの指示通りに、玉ねぎを涙ながらに刻んだり、にんじんを刻んだりしてドライカレーを作りました。留学生にとっては、ドライカレーも初めて食べる料理だったのですが大満足した様子でした。夕ご飯の際には、お父さんから人のつながりは大事だというありがたいお話があったのですが、留学生たちは真剣に話を聞いていました。留学生たちは日本の焼酎を体験して、お父さんの酒量に驚いていました。こうして初日が終わりました。

民泊2日目、朝から山に行って栗拾いをしました。大きな栗がゴロゴロと転がっており、あっという間に袋がいっぱいになりました。拾った栗は各自持ち帰って食べました。そのあとはみんなで昼食のおにぎりを作りました。この経験も留学生は初めてのことで、お母さんの助けを借りながら自分のおにぎりを作りました。その後、カタクリ館の周辺をみんなで散策しました。近くの駅を見たり、川を見たりしました。昼食の時間では、自分で作ったおにぎりをおいしく食べて、2日間の思い出を語り合いました。帰りの際にもきちんとお母さんに感謝の言葉を伝えたいとお母さんに丁寧な言葉で話しかけている留学生の姿が印象的でした。

2回目の農家体験では、1か月ぶりのグループのメンバーとお母さんとの再会に喜んだ後に、餅つき体験をしました。留学生たちは、想像以上に重い杵に驚きつつも、大きく体を動かして餅つきを頑張っていました。その後は、餅の中にあんこを入れて、丸め、色のついた餅で餅を飾る作業をしました。蒸した後にどんな見た目になっているかを期待しながら、やわらかい餅をこねこね、飾りつけを頑張りました。そして、アルバムづくりではメンバーがそれぞれ気に入った写真に一枚ずつコメントやメッセージを日本語で書いて、受け入れ農家さんに感謝の気持ちをこめました。その後も日本語でそれぞれの文化や日本の漢字の話をして仲良く時間を過ごすことができました。一回きりではなく1か月後にまた会うことができたのも楽しい交流時間になった重要な要素だったと思います。



## 8 班活動報告（川井喜幸さん宅：ふる里）

秋田県立大学 橋本 真澄

私達8班は川井さんのお宅（ふる里）にお世話になりました。私の班のメンバーは私、オランダ出身のカスパーさん、中国出身の李さん、ブラジル出身のアマンダさんでした。私は2回目の参加でとてもこのイベントを楽しみにしていました。

川井さんと初めてお会いした時、川井さんはメンバー全員を温かく迎えてくれました。昼食は煮込みうどんを食べました。しいたけなどの具材はほとんど川井さんのお宅で取れたものでした。また秋田の名産であるいぶりがっこも頂きました。畳が敷いてある和室で美しい景色を見ながら、メンバー全員で趣味の話などで盛り上がりました。

午後からは精米工場の見学と里芋掘りをしました。精米工場見学では実際にお米が精米されて袋詰めされるまでを川井さんの説明を聞きながら学ぶことができました。工場の一部が今話題のAIを取り入れて自動化になっているところも見ることができました。しかしまだ工場全体を自動化するのはコストがかかり難しいということも分かりました。

里芋掘りではメンバーが交代で里芋を掘りました。里芋はブラジル、オランダの芋とはまた違う芋なのでメンバー全員が夢中になって掘り進めました。中国では里芋は普段から食べるそうです。

夕食では先ほど採れた里芋を使った味噌汁と手作りごま餅を頂きました。自分たちで苦労して採り調理したものは格別の味でした。夕食時にテレビで京都特集がやっており、カスパーさんが京都に行ったことがあったため、京都の話で盛り上がりました。夕食後、川井さん指導で習字をやりました。私以外のメンバーは習字が初めてだったため、日本文化の勉強にもなったと思います。私以外のメンバーの出来栄を見て私はとても感心しました。

2日目は枝豆取りと昼食用のお弁当作りをしました。川井さんのお宅で栽培していてスーパーなどにはあまり売られていない枝豆をメンバー全員で取る作業をしました。豆の大きさが普通の豆と比較にならないほど大きかったです。作業中に川井さんが将来野菜などが異常気象などで取れなくなり農業が衰退する可能性があるとおっしゃっていました。それを聞き私は若者が知恵を絞って様々な課題を解決していくことが大切だと感じました。お弁当作りではフルーツやおでんをメンバー全員で詰めました。色合いを重視してうまく詰めることができました。作業が一段落したのでメンバー全員で散歩に出かけました。外国では日本の農家の土地より土地が狭いので、私以外のメンバーは日本の土地の広さに非常に驚いていました。

かたくり館に移動して昼食を食べました。自分たちが詰めたお弁当は格別でした。昼食後、かたくり館の周りを散歩しながら他グループの人と交流をしました。私の出身である北海道に旅行に行くという人がいて改めて北海道の魅力を再確認することができました。収穫感謝祭ではアルバム作り、餅つきをしました。ついた餅や川井さんに用意して頂いたお弁当を頂きながら秋田の訪れた場所などの話で盛り上がりました。昼食後、班員全員で写真の配置や感謝の言葉を考えながらアルバムを作りました。アルバムの中で普段あまり描かないイラスト（おいなりさん、枝豆、国旗など）を一生懸命描き綺麗に仕上げることができました。またアルバムの中にメンバー4人の母国語でお世話になった川井さんへ感謝の言葉も添えました。

最後に農家民泊に携わった方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 地域交流事業アンケート 集計表

農業体験ツアー 留学生・日本人学生アンケート 結果  
Result of Questionnaire of the Farming Tour for International Student and Japanese Student

回収数: 33 枚 単位: 人

### 問1. あなたは

留学生	22
日本人学生	7
秋田県研修員	4
計	33

### 問2. 「第三の故郷を見つける農家民泊」 をどのように知りましたか How did you get to know this program ?

掲示(ポスター・チラシなど) Flyer, Poster	4
ホームページ Homepage	1
友人・知人の紹介 Introduced by friends	3
教員・職員の紹介	22
その他(複数回答を含む) Others	3
計	33

### 問4. 農家の方たちと交流できましたか How did you interact with farmers?

大変よく交流できた Very well	17
交流できた Well	10
普通 Somewhat	5
あまり交流できなかった Not very well	1
全く交流できなかった Not at all	
計	33

### 問6. 農業体験に参加して満足しましたか Were you satisfied with the farming activities?

大変満足した Extremely satisfied	21
満足した Very Satisfied	10
普通 Moderately satisfied	2
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	33

### 問8. 14日の昼食会に参加して満足しましたか Were you satisfied with the lunch event on 14th?

大変満足した Extremely satisfied	20
満足した Very Satisfied	12
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	1
不満だ Not at all satisfied	0
計	33

### 問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊: 農業体験ツアー」 で一番印象に残ったイベントは何ですか Which event was the most impressive for you in this program ?

農業体験 Farming practice	9
農家民泊 Farm stay	14
昼食会 Lunch event on 14th	3
農家さんとの語り合い Talk with farmers	3
その他(複数回答を含む) Others (all)	4
計	33

### 問5. 他の学生及び教職員と交流できましたか How did you interact with other students, staff and faculty?

大変よく交流できた Very well	18
交流できた Well	12
普通 Somewhat	1
あまり交流できなかった Not very well	1
全く交流できなかった Not at all	1
計	33

### 問7. 農家民泊に参加して満足しましたか Were you satisfied with the farm stay?

大変満足した Extremely satisfied	27
満足した Very Satisfied	4
普通 Moderately satisfied	2
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	33

### 問9 「農業体験ツアー」に参加して満足しましたか？ Were you satisfied with the "Farming Tour" as a whole?

大変満足した Extremely satisfied	21
満足した Very Satisfied	12
普通 Moderately satisfied	
やや不満だ Slightly satisfied	
不満だ Not at all satisfied	
計	33



問10.「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farming Tour.

(原文ママ掲載)

- とても楽しかった。おいしい食べものを食べた。別の国の人を交流した。いい体験になりました。ほんとうにありがたございました。

I think this is a special trip, and a special experience. I learn a lot about different culture. We together to chat, to cook Japanese food to wxperience the farm activity. This is an interesting and meaningful trip. I like it. Thank you very much! Best wishes for everybody!

- 虫に苦手な私、もし虫がいなければ本当に住みたい！
- 秋田の伝統的なものを体験できて、よかったです。友達もつくりました。
- It was fun!

- The only issue was that I have trouble understanding the Akita accent.This made communication very difficult. However, it was still very fun.

We had a very pleasant stay(me & my group).One of the best memories I made were when we sat around the irori, drinking tea,chatting, making thefire and when we all cooked together. Our hosts were amaging! They did their best so as we would feel comfortable. I'm so so glad I participated in this experience. Another really interesting point was sleeping for the first time in my life in a washitsu.

- 皆が親切でやさしいです。楽しかったです。
- いい体験。おいしい食べものを食べた。やさしい家族を見た。きれいなところ。
- 精米過程を知ることができて今の農業を知ることができたので良かったです。農家さんのお話が面白かったです。ありがとうございました。
- 二日間ほんとうに楽しかったと思います。農家のかたたちと交流し合った。そして、貴重な経験をもらうことができました。最近よく落ちていますので、この農家民泊を通して、元気を出すこともできました。

- I really enjoyed this. I hope there will be more kinds of farming activities so that we can experience more.

- 二日間の農業体験はとても楽しいでした。本当にありがとうございました。

初対面どうして、盛り上がれるか不安だったけど、民泊で一緒過ごすうちに多くコミュニケーションを取り、たくさん驚いたり笑ったり、おいしいご飯を食べながら最高の時間となりました。民泊で体験したことを全てとても楽しかったです。英語を訳して農家さんに分かるように説明するのが大変だったけど、すごく貴重なことだと実感しました。もっと英語を上達させたいとも思いました。様々な国からの友達と特別な思い出を作ることができ嬉しいです！ありがとうございました！！

- It's really good I made new friends and enjoy many things such as culture, food...

もっと農業体験ができると思っていたら、くり拾いだけで、ちょっとさみしかったです。家でポーッとTVを見る時間が長く、もっと活動したかったです。事前にグループのみんなとオリエンテーションをしったりして、もっと仲良くなってから来たかったです。

- I'm so grateful for this experience!! Thank you, thank you.
- 農家民泊して おもしろかった。主人方たちがめっちゃしんせつしました。
- 貴重な二日間を過ごすことができ、うれしかたかったです。また機会があれば参加したいと思います！

It was really a great experience for me joining this program we are welcome with a very great treat from the aunty&Granma and I love it very much. I wish more people should known and join the program because it is a really great program. Keep up this great program even in the future.

- 今日この民泊体験に参加できて本当に良い経験をする事ができました。同じ班の女の子とや夜におりがみを折ったりして楽しんだり、13日の夜はみんなで花火を見に行ったりもしました。とにかく毎日家族のあたたかみだったり、大切さを実感できたり、異文化にたくさん触れることができ本当に楽しかったです。

- It was an amazing experience as a whole. It is a great exposure for me as a foreign student as I can learn about Japanese Culture in depth. I would love to join this kind of program again in the future.
  
- すごく幸せな感じがする。おばあさんとゆきこさんはすごくやさしい。ほんとお母さんとおばあさんの感じする。夜は寒いけど、星はきれい！来てよかった！一緒の仲間もなかよく遊んでた。楽しかった！！
  
- この体験はとても貴重で、忘れられないものとなりました。農家体験、ご飯づくり、農家の方々との語り合いが印象的でした。次の収穫祭が楽しみです。他大学の留学生ととても仲良くなれたことが本当に嬉しいです。
  
- 引率教員の紹介や車内オリエンがなかったのはなぜですか。  
私のところは生徒の自主性が優先されていたのが有難かったです。
  
- とても楽しかったです。ただ、女の子の中に1人だけ男の教員の方がいて肩身が狭そうでした。  
それと、二日間の自由散策の時にインストラクションがほしかったです。例えば周りに何があるのか等。
  
- The event as a whole was great! in the family that I stayed with we didn't do a lot of farming activities but we made a lot of food. This was a bit against my expectations but I still think that's great fun.
  
- It was a really good opportunity to speak, be able to see and experience farming activities + in onsen Thank you.
  
- I like this Farming Tour! I wanted to talk with elderly Japanese people and experience staying at the traditional Japanese house and I've got it! It was interesting and useful. Thank you!
  
- Very good families are in this program. Glad that I have a chance to learn new things and experience farmers life.
  
- It would be better if there's more chance to interact with other home stay participant as well.  
So all participant will get along and know each other better.

## 地域交流事業アンケート 集計表

農業体験ツアー受け入れ農家アンケート 結果  
Result of Questionnaire of the Farming Tour for Host Family

回収数:8枚 単位:人

**問1. 「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」  
で一番印象に残ったイベントは何ですか**

**Which event was the most impressive for you in this program?**

農業体験 Farming practice	1
農家民泊 Farm stay	2
昼食会 Lunch event on 14th	1
学生との語り合い Talk with students	2
その他(複数回答を含む) Others (all)	2
計	8

**問3. 農家民泊を実施して満足しましたか**

**Were you satisfied with the farm stay?**

大変満足した Extremely satisfied	6
満足した Very Satisfied	2
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	8

**問5. 留学生と交流できましたか**

**How did you interact with International students?**

大変よく交流できた Very well	7
交流できた Well	1
普通 Somewhat	0
あまり交流できなかった Not very well	0
全く交流できなかった Not at all	0
計	8

**問7 「農業体験ツアー」に参加して満足しましたか**

**Were you satisfied with the "Farming Tour" as a whole?**

大変満足した Extremely satisfied	7
満足した Very Satisfied	1
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	8

**問2. 農業体験を実施して満足しましたか**

**Were you satisfied with the farming experience?**

大変満足した Extremely satisfied	7
満足した Very Satisfied	1
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	8

**問4. 昼食会に参加して満足しましたか**

**Were you satisfied with the picnic?**

大変満足した Extremely satisfied	7
満足した Very Satisfied	1
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	8

**問6. 日本人学生および引率教職員と交流できましたか**

**How did you interact with Japanese students, staff and faculty?**

大変よく交流できた Very well	6
交流できた Well	2
普通 Somewhat	0
あまり交流できなかった Not very well	0
全く交流できなかった Not at all	0
計	8



問8.「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。  
Please give us your comments and opinions about the Farming Tour.

- 今年はラオスからの留学生は始めてで色々な国の人方と話し合えるのは楽しかったです。
- 日本語が通じる学生さん達だったのでとても楽しかった。来年は80歳近くなって来たので受入が続けられるか心配のところもあります。元気でまた受入れ出来る様頑張りたいと思っています。
- 海外の方との交流で他の国の生活ぶりや習慣の違いなどを作業しながら私達も勉強なることも多かった。好き嫌いなく手作り料理を食べてくれて、一番食材の美味しい時期なので嬉しく思いました。
- 来年もぜひ来ていただきたいです。
- 楽しい時間を過ごすことができました。文化の違いを話すことで、世界の広さを感じました。また来年も来てください。
- いろんな国の大人の意見を聞くことができ、とても楽しい夜を過ごすことができました。また会える11月を楽しみにしています。

地域交流事業アンケート 集計表

収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート 結果

Result of Questionnaire of the Harvest Tour for International Student and Japanese Student

回収数:29枚 単位:人

問1. あなたは

留学生	18
日本人学生	7
秋田県研修員	4
計	29

問2. 「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝祭ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in this program?

もちづくり Making rice cakes	7
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	8
アルバムの作成 Making albums	7
その他(複数回答も含む) Others	7
計	29

問3. 農家の方たちと交流できましたか

How did you interact with farmers?

大変よく交流できた Very well	11
交流できた Well	12
普通 Somewhat	6
あまり交流できなかった Not very well	0
全く交流できなかった Not at all	0
計	29

問4. 他の学生及び教職員と交流できましたか

How did you interact with other students, staff and faculty?

大変よく交流できた Very well	16
交流できた Well	10
普通 Somewhat	3
あまり交流できなかった Not very well	0
全く交流できなかった Not at all	0
計	29

問5 「収穫感謝祭ツアー」に参加して満足しましたか？

Were you satisfied with the Harvest festival?

大変満足した Extremely satisfied	20
満足した Very Satisfied	6
普通 Moderately satisfied	3
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	29

問6 「第三の故郷を見つける農家民泊」に参加して全体的に満足しましたか？

Were you satisfied with the "Farmstay" as a whole?

大変満足した Extremely satisfied	22
満足した Very Satisfied	7
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	29

問7. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farming Tour.

(原文ママ掲載)

- ・ ありがとう！
  
- たのしかったです！収穫祭は自分たちで育った野菜を収穫して食べたかったです。ありがとうございました。
  
- もちづくりは伝統的な活動で、これに参加するのは大変ありがたい。またアルバムにもとてもたのしかったです！
  
- 農家の方がとてもあたたかくて本当に楽しかったです。  
また参加したいです。  
お餅が本当においしかったです。
  
- 機会があればまた参加したいと思います。
  
- 班員以外の人とも交流できたので、良かったです。
  
- 世界からの留学生を交流したい経験になりました。でも、英語が下手ですから、このから、もっと勉強します。  
この機会を提供の先生どうもありがとうございます。
  
- The gradmother is very kind. Many delicious foods are taken for us! Thank you very much!
  
- いろいろ国からの留学生たちとの交流ができました。すばらしい体験でした。
  
- ない
  
- I want to have more times!!
  
- すごく満足しました。もちを作る経験は本当に嬉しかったです。  
昼ごはんも美味しくて、また今度も食べたい。  
皆に感謝します。
- Loved it!thank you! More kiritanpo
  
- とてもいいです
  
- I had fun! Thank you!
  
- I liked that we had very different & diverse activities. I really enjoyed everything.
  
- 農家の方々のあたたかいおもてなしに大変感謝しています。このような行事があることを知らなかったのも、今回参加させていただけただけを本当に嬉しく思います。もちつきや、農家のお母さん方とのふれあいなど、貴重な体験が多く、とても楽しい行事だと感じました。また、秋田大学と国際教養大学合同のイベントだったため友達も増えました。また機会があれば是非参加させていただきたいと思います。企画、運営をして下さった皆様。本当にありがとうございました。
  
- It was a lot of fun I met some great people the expeience bought me a lot too.
  
- It would be good if we get to do rice harvesting as well overall, it was amazing to participate in this activity and experience farmers' life. This is because being immerse in what farmers really does is very important.
  
- I really like the second meeting, because we known more each other. The beginning of the farmstay was a lier awkward but as the day goes it became more and more interesting.
  
- Thank you for this experience! I'm glad I had an opportunity to participate. All activities were extremely amusing and interesiting. Please don't give up doing the farm stay!



地域交流事業アンケート 集計表

収穫感謝祭ツアー 受け入れ農家の方々アンケート 結果  
Result of Questionnaire of the Harvest Tour for farmers

回収数:8枚 単位:人

問1.「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝祭ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in this program?

もちづくり Making rice cakes	2
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	2
アルバムのプレゼント Receiving albums	2
その他(複数回答も含む) Others	2
計	8

問2. 学生と一緒にもち作りをして満足しましたか。

Were you satisfied with cooking meals with students?

大変満足した Extremely satisfied	5
満足した Very Satisfied	3
普通 Moderately satisfied	
やや不満だ Slightly satisfied	
不満だ Not at all satisfied	
計	8

問3. 食事をしながらの交流会に満足しましたか。

Were you satisfied with the party and eating meals?

大変満足した Extremely satisfied	4
満足した Very Satisfied	4
普通 Moderately satisfied	
やや不満だ Slightly satisfied	
不満だ Not at all satisfied	
計	8

問4. アルバムのプレゼントには満足しましたか。

Were you satisfied with present of albums?

大変満足した Extremely satisfied	5
満足した Very Satisfied	3
普通 Moderately satisfied	
やや不満だ Slightly satisfied	
不満だ Not at all satisfied	
計	8

問5. 留学生と交流できましたか。

How did you interact with International Students?

大変よく交流できた Very well	4
交流できた Well	4
普通 Somewhat	
あまり交流できなかった Not very well	
全く交流できなかった Not at all	
計	8

問6. 日本人学生及び引率教職員と交流できましたか。

How did you interact with Japanese students, staff and faculty?

大変よく交流できた Very well	3
交流できた Well	5
普通 Somewhat	
あまり交流できなかった Not very well	0
全く交流できなかった Not at all	0
計	8

問7. 「収穫感謝祭ツアー」に参加して満足しましたか？

Were you satisfied with the Harvest festival?

大変満足した Extremely satisfied	4
満足した Very Satisfied	4
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	8

問8. 「第三の故郷を見つける農家民泊」に参加して全体的に満足しましたか？

Were you satisfied with the "Farmstay" as a whole?

大変満足した Extremely satisfied	4
満足した Very Satisfied	4
普通 Moderately satisfied	0
やや不満だ Slightly satisfied	0
不満だ Not at all satisfied	0
計	8

問7. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。  
Please give us your comments and opinions about the Farming Tour.

- 2019年もありますように！I hope this programme still goes on.
- 今回の日程は今までよりやりやすかった。  
稲刈りが終わってからだったので、メンバーもそろえやすかった。11月10日も他と重ならないで楽でした。
- 来年もお待ちしております。
  
- 楽しくおつき合いが出来ました。
- 若い人達との交流は高齢者になってきた自分にはとても楽しみにしているイベントです。
- とてもいい時期の交流会なので、お互いに美味しいものを食べて楽しむ事ができました。
- 又来年も宜しくお願い致します。
  
- 皆さんと再会でき楽しく過ごす事が出来ました。  
食事の時各国々の伝統食の話が出て又少し色々な事知ることができました。

紅葉がまだ始まったばかりの10月13、14日と紅葉が終盤の11月10日、忙しい学生生活の中、参加者の皆さんにとって農村での体験はどうでしたか？毎年なのですが、皆さんに会うまではどんな人が来るのだろうと思いをめぐらしてドキドキでした。3日間とも天気に恵まれて、怪我もなくとても楽しく過ごすことができほっとしています。

我が家はこの数年、冬の暖房用の薪を外から薪小屋に入れてもらう作業を手伝ってもらっています。小さく切った薪を一つずつ薪小屋に積み、薪小屋いっぱいにしてもらいます。家族だけでは中々すぐにいっぱいにはならない作業も、学生の皆さんとおしゃべりしながら積むと半日でいっぱいになります。単純な薪を積む作業にもコツがあり、そのコツはテリー先生が毎年指導してくれています。皆さんの一生懸命な作業姿を毎年ありがたく感じています。単純な作業ですが、作業をしながらの話は英語が出来ないのにとっても楽しく、知っている単語を繋げて、こんな話をしているのかな？と聞いていました。

今年はこのツアーを受けるようになって10年の年でした。本当にあつという間でした。この10年の写真を振り返ってみると最初戸惑ったことが思い出されます。あの時、10年後これほど外国の方との交流をするようになるとは想像もできませんでした。この10年の間にこのツアーの受け入れ経験がベースとなり、近年のインバウンドという波にも自然に乗ることが出来ているのだと思います。外国人にどう接したらいいのか、ご飯は何を出したらいいのか、言葉はどうしたらいいのか、イスラム教徒やベジタリアンの対応はどうするのか。今では開き直りや、慣れもあり自然体で楽しく交流出来ていますが、最初は反省点がとても多かったのを思い出します。今はその反省をふまえ、自分たちの暮らし、食事、環境に自信が持てるようになったと思います。これでいいんだ、ありのままでもいいんだ、という思いで接することができるようになったと思います。今後もこのツアーが長く続き、外国人学生だけでなく日本人学生にとっても秋田の農村、秋田の人を知ってもらうきっかけになる事を願っています。

最後に、10年間参加して全体を見てくれていたテリー先生が退職されることを聞きました。とても寂しいです。私にとってアメリカ人と言えばテリー先生です。気さくで、ユーモアがあり、農業にも詳しくて、我が家の畑を隅から隅までよくご存じで、とても頼りにしていました。とても感謝しています。ありがとうございました。